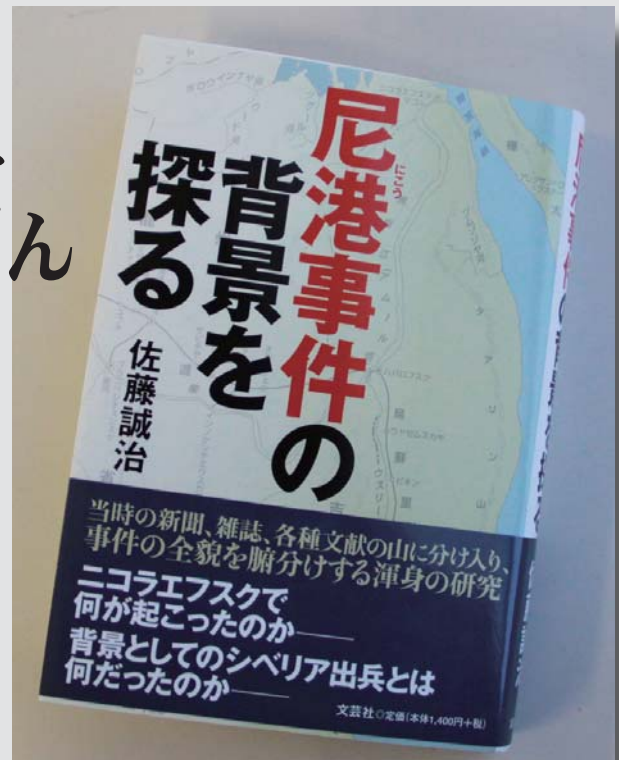


歴史の研究を自費出版で



佐藤 誠治 さん
さとう せいじ

退職してからが自分の時間



当別は北大に近いから・・・

網走管内の小学校、中学校で教壇に立っていましたが、平成5年3月に定年退職しました。退職後は自分の好きな勉強をするため、聴講生として北海道大学に通うことになり、便利の良い場所を探した結果、これまで縁もゆかりもない当別に家を建て、終の棲家としたのです。

北大では、2年間、法学部と経済学部
に籍を置き、主に政治史を受講しました。社会人の聴講生は100人に2人程でしょうか。試験は受けなかったのですが、テープで録音し家でも勉強しましたよ。私の頭に強く残ったのが「日露関係史の再検討」という公開講義でした。領土問題で最近も話題となるロシアですが、ソ連の崩壊以来、ソ連という国と日本との関係も含めてとても興味を持ったのです。

ところが当時の新聞記事などの史料を調べてみると肝心なところが伏字で判然としないことがあるのです。そうするともっと真実が知りたくなるものですね。余市町の図書館、東京の国会図書館、防衛研究所の図書館へも足を運びいろいろ調べました。何度も行ってますから滞在費も相当なもので研究も大幅に制約されました。5年ほどかけて調べた結果を原稿にまとめましたが、出版するには、読みやすく簡潔にしなければと思いつつ、しばらく机の中に眠らせてしまったのです。

元気なうちに、この成果を形に残したいと思い直し、自費出版することを決め出版社に相談しました。出版が決まると、今度は出版社から広告掲載の案内が続けてきました。それがなんと100万円単位なので、もちろん断りました。経済的にも家族からも反対されていた訳ですが、一生に一度のことと

作業を進め、発刊の運びとなり、心配していた親戚や子ども達に本を送りましたね。

孫からは「おじいちゃんはお作家だったの？」とか、甥からも「知らない事件だったので、いい本出したね」など、関心を持たれ喜んでいました。家族の助けがあつての完成です。研究と出版を通していろいろな経験ができました。この本は私が生きた記念ですね。

「^{にこう}尼港事件の背景を探る」は1920年3～5月シベリアで日本人居留民、軍人合わせて700人以上が死亡した事件の背景、シベリア出兵に関わる世界各国の情勢を当時の新聞、雑誌の報道から紹介しています。本は町内の書店で予約できます。(1月15日発売。1,470円)
(1月18日取材)

佐藤誠治(秋田県出身、平成5年4月より北栄町在住、趣味 読書)